

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成28年4月7日(2016.4.7)

【公開番号】特開2014-183435(P2014-183435A)

【公開日】平成26年9月29日(2014.9.29)

【年通号数】公開・登録公報2014-053

【出願番号】特願2013-56203(P2013-56203)

【国際特許分類】

H 03 H 9/19 (2006.01)

H 03 H 9/215 (2006.01)

【F I】

H 03 H 9/19 J

H 03 H 9/215

【手続補正書】

【提出日】平成28年2月23日(2016.2.23)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

基部と、

前記基部の一端側から延出している第1の振動腕および第2の振動腕と、

前記基部の前記一端側から前記振動腕の延出方向に沿って延出してあり、前記延出方向に直交する幅方向において前記第1の振動腕と前記第2の振動腕との間に配置されている支持腕と、

前記基部の前記一端とは反対の他端側であって、前記振動腕の幅の範囲および前記支持腕の幅の範囲の少なくとも一方に設けられている突起と、
を備えていることを特徴とする屈曲振動片。

【請求項2】

前記支持腕は、前記基部との付け根部分であって前記幅方向に交わる両側面に支持腕テーパー部を備えており、

前記突起は、前記支持腕の前記両側面により規定される幅の範囲であって前記他端側の領域に設けられていることを特徴とする請求項1に記載の屈曲振動片。

【請求項3】

前記基部の前記他端は、前記支持腕の前記延出方向とは反対方向へ向かうに従い前記幅方向の幅が漸減していることを特徴とする請求項1又は2に記載の屈曲振動片。

【請求項4】

前記振動腕は、前記基部の前記幅方向における端部側であって前記幅方向に交わる側面に、振動腕テーパー部を備えており、

前記突起は、前記振動腕テーパー部の幅の範囲であって前記他端側の領域に設けられていることを特徴とする請求項3に記載の屈曲振動片。

【請求項5】

請求項1ないし4のいずれか一項に記載の屈曲振動片を備えることを特徴とする振動デバイス。

【請求項6】

請求項1ないし4のいずれか一項に記載の屈曲振動片を備えることを特徴とする電子機

器。

【請求項 7】

請求項 1ないし 4のいずれか一項に記載の屈曲振動片を備えることを特徴とする移動体。
。